

木浦奈津子・柴田七美・炭田紗季・高松明日香

今日を過ごす方法

— How to spend my daily life —

2014年

2月22日〔土〕—4月20日〔日〕休館日／月曜日

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）

入館料：一般300円、大学生150円（常設展観覧料含む／団体は20名以上2割引）

高校生以下、65才以上の方、障害者手帳等の所持者は無料

〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上602

TEL 087-893-1800 FAX 087-893-1833

今日を過ごす方法

—How to spend my daily life—

木浦奈津子・柴田七美・炭田紗季・高松明日香

絵を描いていても、いなくても、時間は過ぎていく

また朝が来て、日が暮れる

外に出る用事が無い日は、家から出ない日もよくある

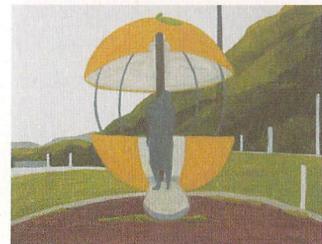
そんな生活は、一般的に考えれば

不健康でまったく実りの無い日々の過ごし方だと思われるかもしれない

けれども、私たちは家の中で絵を描いている

木浦 奈津子 Natsuko KIURA

1985年鹿児島県生まれ、同県在住。07年「アートと米の収穫祭」(香川県直島)、09年「NEXT WAVE 展」(鹿児島市立美術館)などに出品。11年、13年「トーキョーワンダーウォール」、11年「SHOW case show」入選など。身の周りにある景色を見たままに絵画化。日々の景色を瞬間に切り取り、それらを見た時に最初の印象を、絵画において再現しようとする。



木浦奈津子《こうえん》2013



木浦奈津子《ダンス》2013



柴田七美《舞台》2013



柴田七美《舞台》2013



炭田紗季《大黒天》2013



炭田紗季《恵比寿神》2013



高松明日香《CASA drawings》2013



高松市塩江美術館では、県内外で活動する木浦奈津子・柴田七美・炭田紗季・高松明日香の作品をご紹介いたします。1日を過ごす方法として、絵を描くことは、作家たちにとって特別なことではなく、ごくありふれた日常に過ぎないのかもしれません。思っていることや考えていることを言葉にするのではなく、思いを込めながらキャンバスに向かう日々。同じ部屋の中で、絵を描き続けることについて「これしかできない」と言い、淡々とした普通の日々から、彼女たちの作品は生み出されています。本展では、それぞれの作品で伝えたい思いや絵画に対する姿勢をご覧ください。

ギャラリートーク

① 2月22日（土）木浦奈津子・柴田七美・炭田紗季・高松明日香

② 3月22日（土）炭田紗季・高松明日香

時 間 | 14:00 - 15:00

場 所 | 企画展示室

参加費 | 無料（但し、入館料は必要）

ア ク セ ス

バ ス → JR高松駅から「ことでんバス・塩江線」乗車約60分
塩江バスターミナル下車徒歩約15分
自動車 → 高松中央ICまたは高松西ICから約40分
飛行機 → 高松空港からタクシーで約20分

